

仔牛

新美南吉

青空文庫

仔牛が ある 日 お父さん牛と お母さん牛の ところへ いつて、

「父ちゃん 母ちゃん、あたい 體の 中が むぢゆむぢゆすんの。」と いひました。
お父さん牛も お母さん牛も すつかり よろこんで よだれを たらしました。そして
お母さん牛が いひました。

「坊や その むづむづするのはね、今に 坊やの 體から 何かゞ 生えて くるのよ、
さあ それでは、あの 丘の 南の なの花畑ぼたけの中へ はいつて、ぢつと すはつて
ゐなさい、何か 生えて くるまで 待つて ゐなさいね。」と いひきかせて、仔牛を
一人きり 送つて やりました。

仔牛が いつて しまふと お母さん牛は むねを おどらせながら お父さん牛に
いひました。

「ね、あの 仔は 世界中で 一番 美しい 仔牛だから、今に きつと 肩の 下から、
いつか ほら 丘の ふもとで 池の 上に うかんでた あの 白鳥のやうな 美しい
白い 羽が 二つ 生えますよ。」けれど お父さん牛は 大きな 顔を 横に ぶり
ました。

「なにを 馬鹿な。けものに 羽など 生えるもんか。けものに 生える ものは 角に
きまつてる。だが あれは、なかなか 勇ましい やつだ。だから きつと 鹿の 角
みたいに りつぽな、枝の ある 角が できるだらう。」

「おゝ いやだ、あんな みつともない もの。あんな いやな ものが あの かはいゝ
仔に 生える ものですか。きつと 羽が 生えます。もし あの 仔に 羽が 生え
ないなら わたし、この しつぽを あげても よろしいわ。」

「そんな へんてこな しつぽなんか いらぬよ、繩つきれの 方が よつぽど まし
だ。お前が さう いふなら わしは かう いふ。もし あれに 鹿の 角が 生えな
いなら、わしは わしの ひづめを やらう。」すると お母さん牛は 大きな 顔を
できるだけ しかめて、

「そんな ひづめより 道ばたに おっこつて ある お椀の かけらの 方が ましで
すわ。」と いひました。

丘の 南の なたね畑の 中で じつと まつて みた 仔牛の 頭に、やがて 小ち
やく 生えて 来たのは、白鳥の 羽でも なく、鹿の 角でも なく、ふつうの 牛の
まるい 角でした。仔牛が お父さん牛と お母さん牛の ところへ かへつて 来る

と二人の親牛は眼をしばたゝいてよろこびました。そしていひあひました。
「まあ、よかつた。でも何てりつぱな牛になつたことだらう。」

青空文庫情報

底本：「校定 新美南吉全集第四巻」大日本図書

1980（昭和55）年9月30日初版第1刷発行

1987（昭和62）年2月15日第3刷発行

初出：「ろばの びっこ」羽田書店

1950（昭和25）年6月5日

入力：高松理恵美

校正：川向直樹

2005年3月17日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

仔牛

新美南吉

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>